



ご当地 **太坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No. 620

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

March
2021
令和3年

3



Contents

デンタルアイ	1
森永 和男	
理事会報告	3
会務日誌	4
学校歯科委員会だより	7
ピンクのエプロン	10

表紙写真について

白いこぶしの奥に日光男体山

(社) 茨城西南歯科医師会 関口 啓子

新型コロナウイルス感染拡大で 思うこと (10年間の会長時代を振り返って)



会長
森 永 和 男

昨年の1月に武漢で発生し、あっという間に世界を席巻してしまった新型コロナウイルス(COVID-19)感染が一年を経過するが、未だに終息を見ない、それどころか拡大の一途をたどっている。日本においても非常事態宣言が今年に入って各地で出されている。茨城県歯科医師会の事業の展開に支障をきたしている事も事実であるが、これを災害と捕らえるならば、私の会長時代は大きな災害に始まって、大きな災害で終わる事になるだろう。

私が会長に就任した年の2011年は100年に一度といわれた未曾有の大災害が起こった年であった。まさに3・11東日本大震災である。私にとって出鼻をくじかれた災害であった。

この事態の中で、私がスローガンに掲げた7つの課題をどう進めていったら良いかという問題をつきつけられ、苦悩した年でもあった。しかし、今思うと、この年の苦悩が私の10年間の礎になっているような気がする。

当時は茨城県歯科医師会の行動が内部中心であり、自分たちの自己満足の域を脱していない感があったため、今までの茨城県歯科医師会からの脱却を図るため、この機会に防災を通じて歯科医療のあり方、大切さを行政に働きかける決心をし、茨城県44市町村との防災協定締結を

目指して行動を起こしたことを覚えている。結果的に4年を費やしたが44市町村すべてと防災協定を結ぶことができた。この間、各市町村の保健福祉部の関係者と歯科の重要性、高齢社会に対応できる健康長寿、生きる喜びなど、歯科を通じて話げできたことは非常に有意義であった。もし、あの大きな災害を教訓としていなかったなら、この事業は達成できなかったと感じている。

これらの行動がきっかけで各市町村が私の健康キャンペーンを後押ししてくれて、各地での多くの高齢者の方々と話し合いが持てた事、まさに災害が茨城県歯科医師会会長としての出発点となり、大きな分岐点になったことは確かである。

各市町村との防災協定を進めながらも、災害の翌年からは社会環境も少しずつ落ち着きを取り戻しつつあったので、私の考えていた強い茨城県歯科医師会、すなわち社会に認められた歯科医師会を目指した。

当時、歯科の重要性を行政に訴えようとしても、その糸口さえなかった事を覚えている。要するに健康の概念から歯科は外れていたのである。

私なりに歯科の重要性はある程度、医療の社

会では認められている存在であると考えていたが、その考えは甘かった。

まず直面したのが医科と歯科との行政の中での関心度の差であった。これは想像以上であった。この状態を打開するためには、行政に目を向ける前に茨城県医師会に歯科の大切さを理解して頂かない限り、いくら茨城県医療審議会の中で訴えても前に進まないと考え、茨城県医師会に協力を求めた。

当時の茨城県医師会会長の斎藤先生に何度もしつこいくらい面会をお願いし、協力を求めた結果、幸い茨城県歯科医師会の存在にも理解を示してくれるようになった。その時、当時茨城県医師会副会長であった小松先生とも話す機会があり、斎藤先生の後を継いで小松先生が茨城県医師会の会長になられたことも大きな一歩となった。また、小松会長が茨城県医療審議会の中での私の発言に対し、フォローして下さった事も大きかった。もし、小松会長との出会いが無かったなら今の発展は無かったと思う。今でも感謝しかありません。

小松会長時代に茨城県の中で四師会協議会が発足し、関東集中豪雨での防災体制、今の医科歯科連携、多職種連携の礎になったことは、茨城県医療界にとっても大きな足跡と考えている。以前から、私は人との出会いの大切さをモットーに行動を起こしてきたが、小松会長との出会いが私の茨城県歯科医師会会長としての大きな節目になったと考えている。つぎに会長になられた諸岡前会長、鈴木現会長と引き続き

お付き合いさせていただいている事、感慨深いものがある。

このようにして、私が茨城県歯科医師会会長に立候補した際、掲げた7つのスローガンも着々と進み、5期目でその達成を考えていたが、その矢先、考えても見なかった新型コロナウイルスの出現を見た。最後の花道を考えていたが、その実現は難しくなったと考え、10年前と同じように苦悩している毎日ではあるが、これも又、私にとっても茨城県歯科医師会にとっても新しい考え方の分岐点になると信じている。

10年前のあの未曾有の大災害が私の分岐点となったように、今回の新型コロナウイルス感染という災害を歯科医師会の新たな分岐点、出発点になるよう「新社会生活」に向かって前向きに行動し、次期にバトンタッチできるよう頑張りたい。

ビスマルクは「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」といっているが、この時期だからこそ、歯科医療の歴史、歯科医師会の歴史を紐解き、もう一度考え直す絶好の機会と考えている。人間立ち止まって考えることの大切さをも思い、先生方にとってこの苦難の時期が素晴らしい分岐点となることを期待して、会長としての最後の筆を下ろす。

会員の先生方の献身的なご協力に感謝しかありません。

10年間本当にありがとうございました。

理事会報告

第10回理事会

日 時 令和3年1月14日（木）午後4時
場 所 茨城県歯科医師会館 会議室（Web会議）
報告者 柴岡 永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(2) 開業予定の歯科医院について

(3) 疾病共済金の支払いについて

県南地区	1名	62日
珂北地区	2名	42日
		23日
県西地区	1名	90日

(4) 第72回関東甲信越静学校保健大会茨城県大会 第2回準備委員会報告について

(5) 第三次補正予算における「医療機関・薬局等の感染拡大防止等の支援」について

(6) 新規歯牙欠損見舞金について

(7) 令和2年度歯・口の健康啓発標語コンクールの審査結果について

(8) 各委員会報告について 地域保健委員会、学校歯科委員会、社会保

険委員会、専門学校

5. 協議事項

(1) 第29回茨城県歯科医学会の開催について Web開催とする。

(2) オンライン資格確認導入について 質問等の窓口は医療管理委員会。導入のため会員の認知を高めたい。

(3) 新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築について（依頼） 歯科医師会員は3月より開始予定。

(4) 新型コロナウイルス感染被害見舞金について 全会員に紙ベースで周知、地区会長に事前通知とする。

(5) 新型コロナウイルス感染症対応「日本歯科医師会休診補償制度」について 日本歯科医師会で損保ジャパンと提携。他の休業補償保険との両立可。

(6) 新規会員の入会促進について 窓口は厚生委員会とする。

(7) その他

○行事予定について

2月18日（木）16時から 第11回理事会

2月21日（日）8時40分から

第29回茨城県歯科医学会（会館）

3月18日（木）16時から 第12回理事会

会務日誌

- 1月14日 第10回理事会を開催。第29回茨城県歯科医学会の開催、オンライン資格確認の導入、新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築、新型コロナウイルス感染被害見舞金、新型コロナウイルス感染症対応「日本歯科医師会休診補償制度」、新規会員の入会促進について協議を行った。
- 出席者 森永会長ほか17名
- 1月18日 第1回医科歯科連携協議会がWeb会議として開催され、病診連携の状況ほかについて協議が行われた。
- 出席者 森永会長ほか2名
- 1月20日 第8回学術委員会をWeb会議として開催。第29回茨城県歯科医学会の開催、令和3年度学術シンポジウム、第30回茨城県歯科医学会、令和3年度生涯研修セミナー開催、パイタルサインセミナーの開催、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について協議を行った。
- 出席者 黒澤副会長ほか9名
- 1月22日 第4回学校歯科委員会をWeb会議として開催。基礎研修日時、更新研修日時について協議を行った。
- 出席者 鶴屋学校歯科部長ほか10名
- 1月26日 第8回県新型コロナウイルス感染症対策協議会がWeb会議として開催され、新型コロナウイルスワクチン接種体制整備について協議が行われた。
- 出席者 森永会長
- 1月27日 第3回日歯予算決算特別委員会がWeb会議として開催され、報告書の作成について協議が行われた。
- 出席者 森永日歯代議員会議長
- 1月27日 第9回社会保険正副委員長会議を開催。第9回委員会、個別指導、審査情報、理事会について協議を行った。
- 出席者 征矢副会長ほか3名
- 1月27日 第9回社会保険委員会をWeb会議として開催し、疑義について協議を行った。
- 出席者 征矢副会長ほか19名
- 1月27日 第1回四師会災害等連携協定WG会議がWeb会議として開催され、第7回JMAT茨城研修会について協議が行われた。
- 出席者 村居常務ほか2名
- 1月27日 第10回医療管理委員会をWeb会議として開催。オンライン資格確認、感染拡大防止補助金、みんなで安心マーク、次年度歯科助手講習会、第三次補正支援金、診療放射線の安全使用のための指針、第2回スタッフセミナーについて協議を行った。

出席者 大字医療管理部長ほか9名

1月28日 第3回厚生委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症に関する優先接種について協議を行った。

出席者 沼田厚生部長ほか9名

1月31日 介護保険講習会をWeb講習会として開催。今回は会場に参集はせず、講師の東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室教授の石田瞭先生には現地よりWebによる講演を行っていただいた。

参加者 90名

1月31日 第1回介護保険委員会をWeb会議として開催。介護保険講習会、口腔ケア講習会、令和3年度出張高齢者施設口腔ケア事業、歯科訪問診療事例集の改正、歯科医師認知症対応力向上研修事業について協議を行った。

出席者 黒澤副会長ほか11名

2月 4日 第2回講師会をWeb参加併用で開催し、卒業判定及び単位認定、成績優秀者・皆出席者・特待生の選考、次年度行事日程等について協議を行った。

出席者 征矢校長ほか13名（内Web参加 4名）

2月 4日 第2回学校運営委員会を開催。今回も新型コロナウイルスの影響により書面開催とし、本年度入試の結果及び次年度入試、オープンキャンパス、体験入学日程について報告し、意見を求めた。

2月 4日 第2回口腔センター運営委員会を開催。新型コロナウイルスの影響から前回に引き続き書面での開催とし、事業（診療）実績（経過）、講演会・研修会・学会等について報告し、意見を求めた。

2月 5日 日本補綴歯科学会東関東支部第2回理事会がWeb会議として開催され、令和3年度日本補綴歯科学会西関東支部・東関東支部合同学術大会ほかについて協議が行われた。

出席者 今湊理事

2月 8日 第24回日本歯科医学会学術大会第2回登録部会がWeb会議として開催され、大会登録の促進、大会登録促進依頼文書（案）について協議が行われた。

出席者 今湊理事

2月10日 保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。

対象医療機関数 4

2月12日 県国民健康保険審査会が県庁舎にて開催され、国民健康保険療養費一部不支給決定処分に対する審査請求（3件）について議事が執り行われた。

出席者 柴岡理事

2月13日 都道府県歯科医師会医療安全担当理事連絡協議会がWeb会議として開催され、事前質問に対する回答について協議が行われた。

出席者 村居常務

2月13日 令和2年度医療安全研修会がWeb開催され、2題の講演が行われた後、都道府県歯科医師会（4県）からの取り組み状況が発表され、歯科診療所の医療安全に繋げていく方策について

て意見交換を行った。

出席者 村居常務ほか1名

2月13日 医療事故調査制度研修会がWeb研修として開催され、2題の講演、DVD研修が行われた。

出席者 村居常務

2月14日 認知症対応力向上研修会をWeb講習として開催。事前に収録した3題の認知症の人への支援体制構築に関する内容をYoutubeにて配信した。

受講者 55名

2月16日 第2回県医療審議会医療法人部会がWeb会議として開催され、医療法人の設立等について協議が行われた。

出席者 森永会長

2月17日 日学歯加盟団体長会がWeb会議として開催され、令和3年度事業計画案の大綱、令和3年度収入支出予算案の大綱について協議が行われた。

出席者 森永会長

2月17日 第10回社会保険正副委員長会議を開催。第10回委員会、指導、審査情報、理事会について協議を行った。

出席者 征矢副会長ほか4名

2月17日 第10回社会保険委員会をWeb会議として開催。疑義について協議を行った。

出席者 征矢副会長ほか21名



株式会社 岩瀬歯科商会



イワセオリジナルユニット
**SIGNO
NEXT**



これまでも、これからは、いつも
Iwase Dental Supply Inc. member

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。
皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

■ 社名 株式会社 岩瀬歯科商会

■ 代表取締役 岩瀬 浩二

■ 本社 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6

■ 電話 028-613-5858

■ FAX 028-613-5859

■ Eメール iwase@iwase-dental.com

■ 製造販売・製造 株式会社モリタ東京製作所

■ 販売 株式会社モリタ

■ 本社 東京都台東区上野2-11-15 TEL 03-3834-6161

■ 支店 東京都台東区上野2-11-15 TEL 03-3834-6161

■ 事業所案内

支店名	住所	TEL
本社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770

学校歯科健診アンケート結果報告

学校歯科委員会 國府田 美葉、内堀 史朗

昨年末、令和2年度の歯科健診に関して学校歯科医の先生方にアンケートをお願いしました。その結果を報告致します。

以前より学校歯科健診に関する対応に各市町村間で少なからず差があるようでしたが、最近の正確な状況を把握できておりませんでした。特に昨年4月の第1回緊急事態宣言、そして本日まで続くこのコロナ禍の状況においてはこれまで以上の感染対策が必要となります。

まさにその第1回緊急事態宣言下で健診時期の延期が通達されました。現状を把握するため、5月に県学校歯科委員を通じ各地区の学校歯科医の先生方に健診時期やグローブの準備状況を調査したところ、44市町村の半数以上で学校歯科医側がグローブを準備していたことがわかりました。そのため、本会より県教育委員会へ学校側での健診環境の改善を文書にて要請しました。

その後、健診が概ね終了したと思われる12月に今年度の歯科健診についてアンケートをお願いし、497件の回答がありました。

(1) 健診時間

昨年と同様 64%

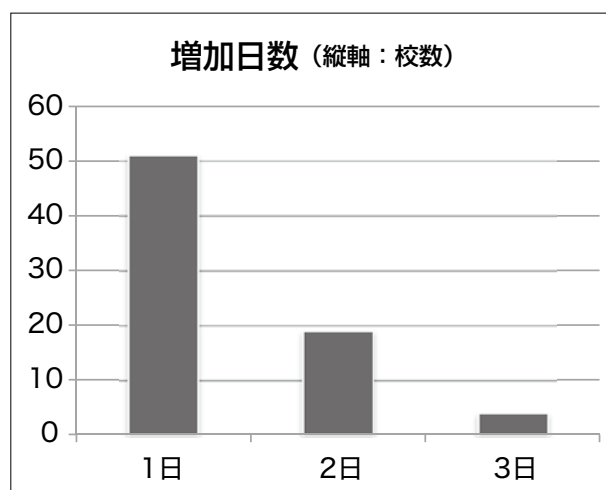
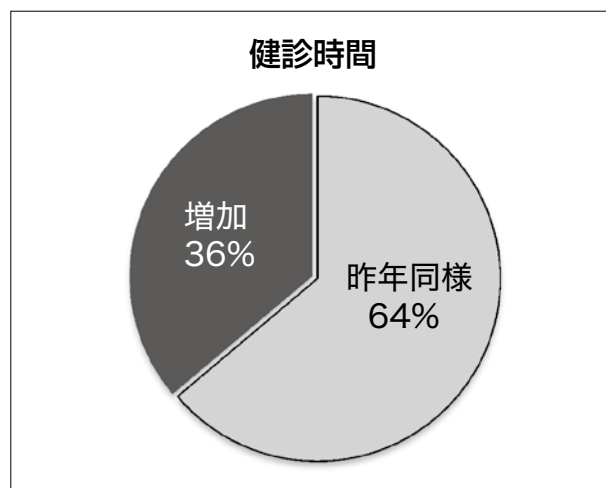
時間あるいは日数を増やした 36%

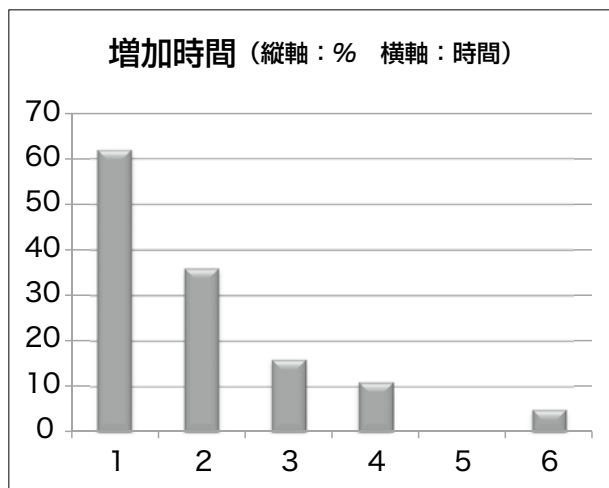
増加時間 1時間程度増加 48%

増加日数 1日 69%

- ・「昨年と同様」が大半を占めるが、3割以上が健診時間、日数を延長していた。

- ・時間、日数が増えたのは、感染対策に費やす時間、三密を避けるために学年や人数で健診日を変えたためだと思われる。
- ・引き続きこのコロナ禍が続くのであれば、昨年度同様の健診時期延長の希望もあった。





（２）グローブの準備

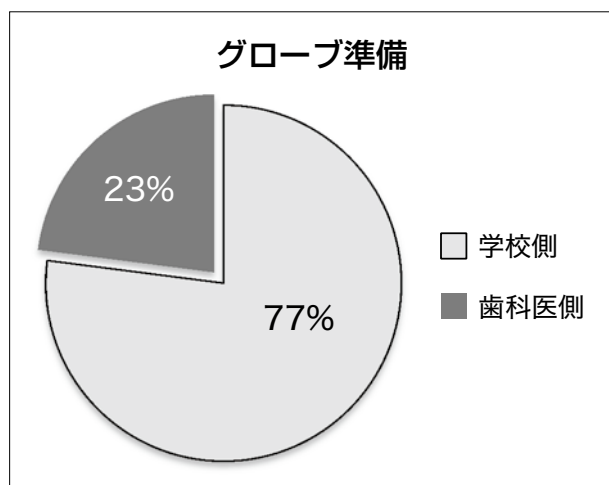
学校側 77％

準備は十分であった 66％

（10校においては数的に不十分と回答）

歯科医側 23％

- ・不十分であったケースを含めると、いまだに3割超歯科医側が準備している。今後の対応を検討したい。
- ・しかし現在、ラテックスグローブ、ニトリルグローブが全国的に品薄になっている。生徒数によってはグローブの準備が困難であることも否めない。
- ・2020年11月号の茨歯会報では、比較的確保しやすいポリエチレン製グローブを用いた二重装着による健診方法も掲載されているので参考にされたい。



- ・なお、グローブの確保が困難な状況では、ダブルミラーテクニック、木製の舌圧子、探針の柄（針の反対側）を用いて口腔内に触れないように健診を行っているという回答もあった。

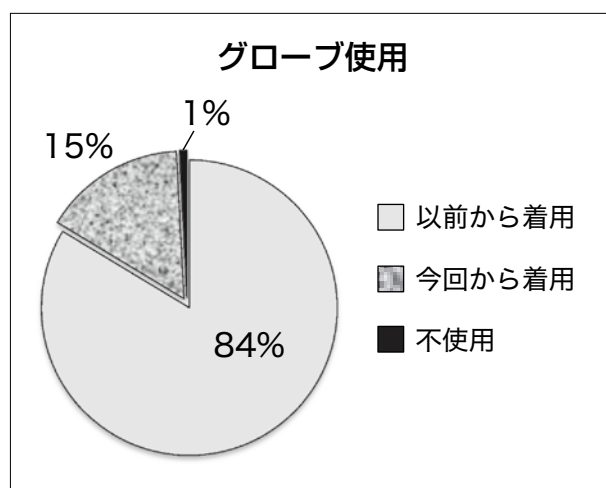
（３）グローブの着用について

以前から着用 84％

今回から着用 15％

不使用 1％

- ・学校側の準備を含め、着用することを検討していただきたい。



（４）ゴーグル・フェイスシールド

準備 学校側 37％

歯科医側 63％

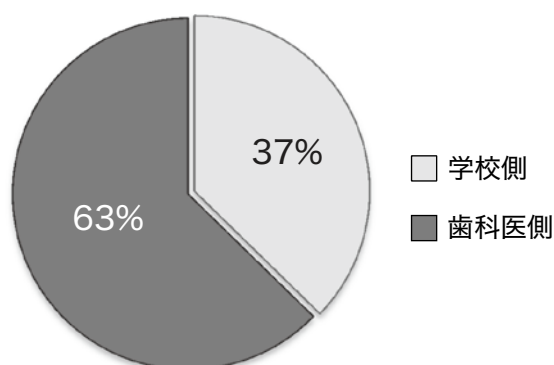
使用状況 以前から使用 9％

今回から使用 69％

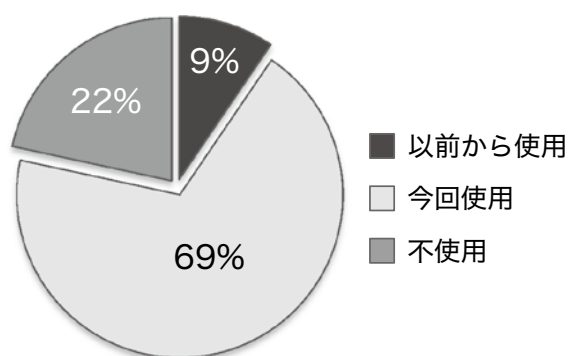
不使用 9％

- ・ゴーグル、フェイスシールドについては品質の問題が上っていた。
- ・健診に適切なフェイスシールドを学校側で準備していただきたい。

フェイスシールド準備



シールド・ゴーグル使用



(5) 健診を受けられなかった児童生徒への対応

学校医診療所での受診勧告 77%

特になし 6%

わからない 10%

・欠席等により健診を受けられなかった対象者はあくまでも学校歯科医による健診が基本であるので、学校側にもそのような配慮をお願いしたい。同時に各学校保健委員会等でその他の対応に関しては協議してほしい。

県教育委員会に対する文書での要請後、例年よりもグローブをはじめとする感染対策準備の改善が見られたようです。しかし、一部では準備不足の指摘もあり、コロナ禍における特殊な状況下で、学校側・歯科医側も健診を行うにあたり現場の混乱や戸惑いがあったと思われます。これを機に、学校側でのグローブ、フェイスシールドの準備、ミラーの滅菌の徹底等、衛生面に対する理解が深まることを期待しています。

今回の調査結果を行政側にもデータとして提示し、学校健診の環境改善を求めるとともに、学校歯科医側も本状況を考慮して、より安全な健診環境づくりに取り組んで頂きたいと考えております。

この度はアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。



〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292
公益社団法人
茨城県歯科衛生士会
TEL・FAX 029-253-5807
<https://ibaraki.jdha.or.jp>
E-mail jimu@ibaraki-dh.net

(公社)茨城県歯科衛生士会 東西茨城支部 飛田 恵子

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった2020年でした。今もまだ、続いています。マスク、手洗い、ソーシャルディスタンス、不要不急の外出は控える、そして、緊急事態宣言が発動されました。私たちは見えないウイルスに怯え、生活様式もガラッと変わってしまいました。自粛が当たり前となり、息苦しい世の中になりました。

そんな中、私の癒しとなったのはわが家のネコでした。歴代のネコの名前の付け方がおもしろいので、お話しします。初めてきたネコは、保護ネコで黒ブチの男の子。ネコの鳴き声は、皆さんご存じのとおり「ニャー、ニャー」ですが、この黒ブチのネコは、娘曰く「マォーン、マォーン」と鳴いていたそうです。この鳴き声から「まお」と名付けました。おとなしく、おっとりしていてとってもかわいいネコでした。

そして、今私の癒しとなっているのが、まおの次にきた黒ネコの女の子。このネコも保護ネコです。保護するのには、一苦労しました。エサを一粒一粒置いて、おびき寄せ、やっとの思いで保護しました。この黒ネコの名前は、「かつおぶし」。なぜなら、台所にあった袋入りのかつおぶしを食べていたから。そして、このかつおぶし、びっくりなんです妊娠していたのです。全くおなかが大きくなっていなかったの、気が付きませんでした。8月7日にリビングで出産、しかも5匹も。今家にいるのは5匹のうちの2匹。「チャーリー」と「クッキー」です。とても可愛い私の癒しです。

コロナ禍が収束し、食事を楽しみ、旅行に行けるようになることを切に願います。以前の景色に戻れるように、皆さんで協力していきましょう。明けない夜はないと信じて頑張りましょう。

有限会社 アイ・デー・エス は、
各種保険の代理店・集金業務
を行っております。

〈損害保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

〈生命保険会社〉

SOMPOひまわり生命保険株式会社

朝日生命保険相互会社

日本生命保険相互会社

大樹生命保険株式会社

明治安田生命保険相互会社

住友生命保険相互会社

第一生命保険株式会社

アフラック生命保険株式会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〈取扱保険商品〉

医師賠償責任保険

個人情報漏えい保険

クレーム対応費用保険

所得補償保険

長期傷害所得補償保険

家族傷害保険

デンタルファミリー傷害保険

ゴルフアー保険

自動車保険

火災保険

グループ保険（団体定期保険）

小規模企業共済

新規加入、増額変更、何なりとご用命ください。

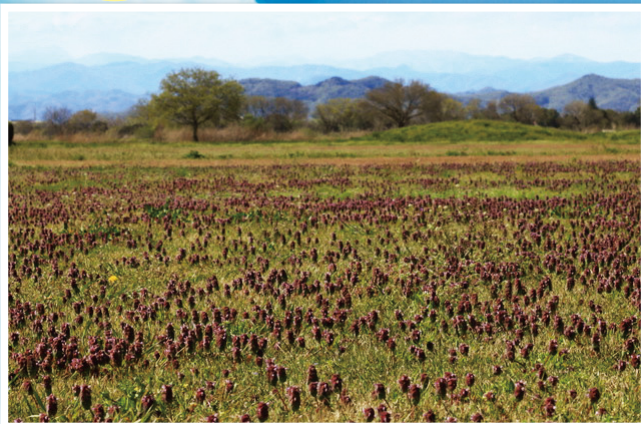
有限会社 アイ・デー・エス

代表取締役 森永 和男

水戸市見和 2 丁目 292 番地の 1 茨城県歯科医師会館内 Tel:029-254-2826

みんなの写真館

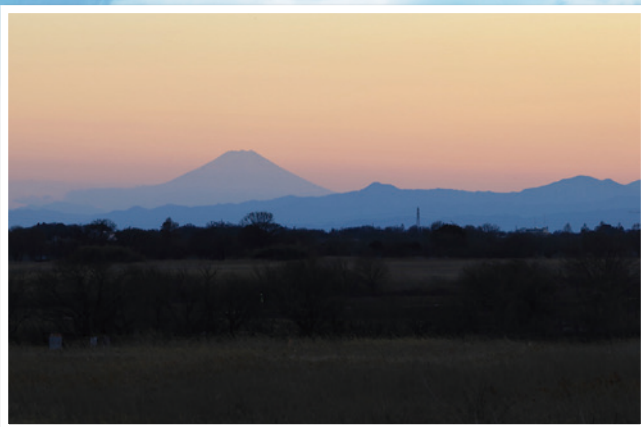
Photo
Gallery



ヒメオドリコソウの群落



ヒメオドリコソウ



夕方、空が赤くなり始め見えた富士山



コウノトリ飛来



花の名前はヘラオオバコと言いますが道端に沢山咲いています

ラムサール条約の登録湿地、渡良瀬遊水地の春

(社) 茨城西南歯科医師会 関口 啓子

会 員 数

令和3年1月31日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	114
珂 北	147
水 戸	155
東西茨城	73
鹿 行	101
土浦石岡	179
つ く ば	136 -1
県 南	175 -1
県 西	154 ±1
西 南	105
準 会 員	6
計	1,345 -2

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員 1,150名
2種会員 77名
終身会員 112名
準会員 6名
合 計 1,345名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和3年3月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進

編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。